

基本目標②

子育て・教育

阿蘇の伝統と文化に育まれ、 夢が広がるまち

地域全体で子どもを見守り支える体制を強化し、保育・教育・医療・保健・福祉の連携による切れ目のない子育て支援を推進します。また、ICT活用や探究型学習など、学びの質を高める教育環境の充実に取り組むとともに、郷土の歴史や文化に触れる体験を通して、ふるさとへの愛着や誇りを育む教育を推進します。本市で育つ子どもたちが、自らの未来を切り拓く力を身につけ、夢を持てるまちを目指します。

2-1 多様な学びの場の提供と歴史文化の振興



現状と課題

現状

- 生涯学習は30講座前後の講座を開設しています。また、生涯学習閉講式を実施し、各講座が学んだ成果を発表しました。
- 阿蘇市子ども読書活動推進計画を令和4年度(2022年度)に改定し、子どもを対象とした読書活動の推進を継続しています。
- 社会福祉施設への配本事業を拡大しました。
- 地域の伝統芸能継承団体へ補助金を交付し、活動を支援しています。

課題

- 年齢や地理的理由により図書館への来館が困難な利用者が増加しています。

成果指標

指 標	現状値 (R6)	目標値 (R10)
人口に占める生涯学習受講者の割合	1.5%	1.7%
市民一人当たり年間図書貸出冊数	5.3冊	5.4冊

主要施策	概 要
生きがいと潤いのある社会教育の振興	市民を対象に主体性・自主性をもった生涯学習の機会を提供し、心豊かな生きがいづくりを支援します。生涯学習講座を通じて「学べる生きがい」を充実させ、読書活動や人権意識の向上を図ります。 阿蘇の地域性や高齢化等を考慮し、移動図書館の利用促進に努め、読書文化の普及と学びの場を提供していきます。 また、豊かな人間性・社会性を育む地域づくり活動や学校と連携した地域コミュニティの活性化を推進し、地域社会全体の維持と充実を目指します。
郷土の誇りと愛着のある歴史・文化の振興	郷土の誇りを育む史跡や伝統芸能の伝承、文化活動の充実を図り、歴史ある文化財の保全・活用・継承を推進します。伝統芸能や文化団体と連携し、文化活動を支援するとともに、未来に引き継ぐ郷土芸能や歴史、文化財の保存・継承に取り組みます。 また、世界文化遺産登録活動や重要文化的景観の拡充を通じて、地域文化の価値向上を目指します。

世界文化遺産登録推進

阿蘇カルデラに展開する人と自然の共生の在り方を示す文化的景観を世界でも貴重な有機的に進化する景観の顕著な見本として、これを未来に継承すべく世界文化遺産登録を目指します。

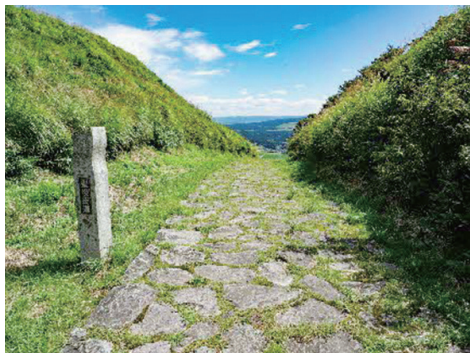
主な事務・事業

生涯学習講座の推進	公民館活動等の支援
移動図書館等幅広い図書振興	

関連する計画

阿蘇市子ども読書活動推進計画

阿蘇図書館



豊後街道

阿蘇の文化的景観

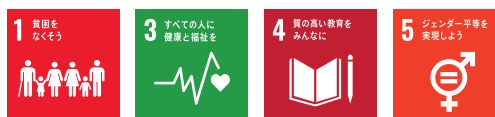


北外輪山から見たカルデラ景観



中通古墳群

2-2 子どもを産み育てやすい環境づくり



現状と課題

現状

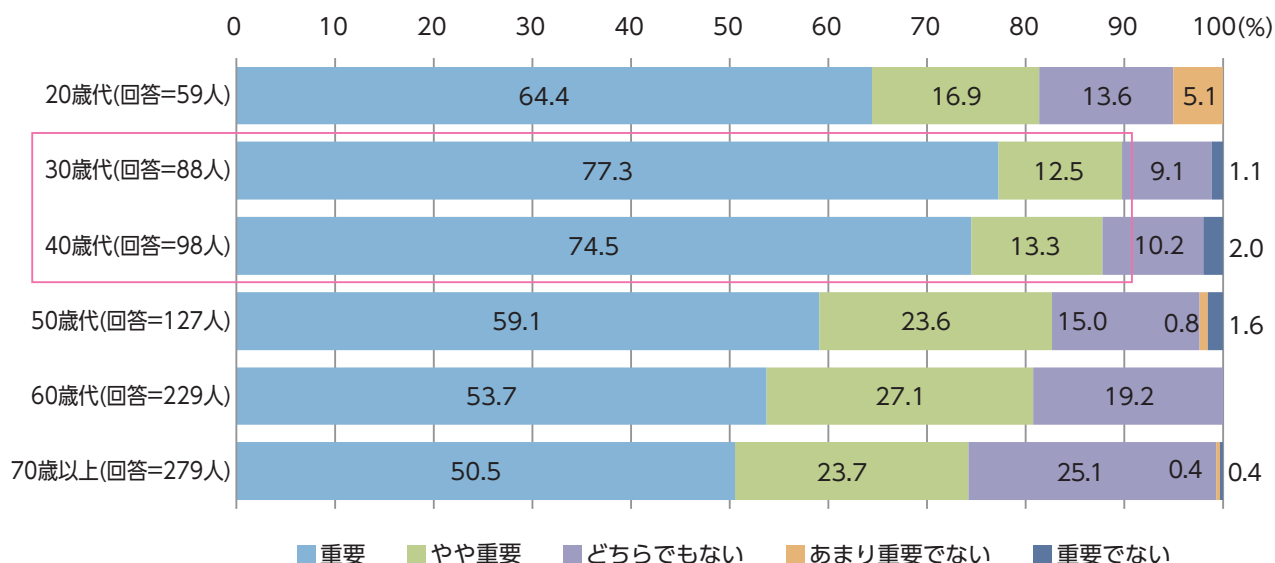
- フッ化物塗布事業や歯科保健指導により、幼児のむし歯保有率は減少しています。
- 放課後児童健全育成事業では、保護者が就労等で昼間家庭にいない小学生に生活の場を確保し、適切な遊び等の指導を行い児童の健全育成と保護者の仕事と子育ての両立支援を行いました。
- 令和2年(2020年)以降待機児童※⁵⁰ 数ゼロを維持しています。

課題

- 出生数が減少している中、低出生体重児(出生時の体重2,500g以下)が増加傾向にあります。将来の生活習慣病リスクを高めないために、妊娠37週以降、2,500g以上の出産に向けた支援体制が必要です。
- 3歳児健診において、メディア視聴時間が1日2時間以上の割合が増加しており、規則正しい生活習慣の確立が課題です。
- 今後も年間を通し待機児童を発生させないための保育士等の確保が必要です。
- 放課後児童健全育成事業の支援員の確保が課題です。

関連するデータ

「子育てしやすい環境」の重要度（年代別）



資料：市民アンケート調査

※50 待機児童…保育の必要性の認定がされ、特定教育・保育施設又は特定地域型保育事業の利用の申込がされているが、利用していないもの。

成果指標

指 標	現状値 (R6)	目標値 (R10)
年度末時点の待機児童数	0人	0人
女性相談支援員等の配置数	2人	2人
低出生体重児の減少	6.7%	6.5%未満
乳幼児健診受診率	99.8%	100%

主要施策	概 要
子育て 医療体制 妊娠期からの生活習慣病予防対策	妊娠期からの保健指導を充実させ、低出生体重児の減少を目指すことで、子どもの将来の生活習慣病予防につなげます。
子育て 医療体制 健やかな子どもの育ち	乳幼児健診や育児相談を通じて、発達や健康上の課題に早期に気づき、疾病の治療・早期療育につなげます。また、生活リズム・食リズムを整え、子どもの健康な生活習慣の確立を目指し、継続した保健指導により将来の生活習慣病の予防に努めます。
子育て 子育て世帯の育児支援	子どもの医療費助成、保育所・認定こども園、放課後児童健全育成、ファミリー・サポート・センター※⁵¹ 事業などを通じて子育て環境の充実を図り、子育てにかかる費用負担軽減や仕事との両立支援を行います。すべての子どもが健やかに成長できる環境づくりを目指します。
子育て 子どもの居場所整備	子どもたちが放課後や休日に安心して過ごすことができ、かつ保護者にとっても安心な居場所の整備を行います。
子育て デジタル 情報発信の充実	出産・子育てに関する様々なサービスや制度を保護者や子どもに周知していくため、市ホームページやSNSなどを使い、情報の受け取り手の属性に合わせた発信を行っていきます。

※51 ファミリー・サポート・センター…乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かりの援助を受けたい者と当該援助を行いたい者との相互援助活動に関する連絡、調整等を行う。

主な事務・事業

母子保健事業

関連する計画

阿蘇市こども計画

阿蘇市健康増進計画及び食育推進計画（第三次）



阿蘇市波野保育園



阿蘇市子育て支援センター

2-3 子どもの自主性を育む教育環境づくり



現状と課題

現状

- ICTを活用した学力向上の推進や遠隔教育に対応できるソフト及び環境整備の推進を行っています。
- 英検等の受験率は、グローバル化に対応した英語教育を推進しており、目標値に近い水準まで達しています。
- プロジェクト学習^{※52}や協働学習を取り入れ、実生活に根ざした課題解決力や社会参画意識を育んでいます。こうした学びを通じて培った知識や考えを他者に伝える力を重視し、プレゼンテーション力を育む取組も実施しています。

課題

- 熊本県学力調査で県平均を上回る項目を増やす取組を行うことが必要です。

成果指標

指 標	現状値 (R6)	目標値 (R10)
授業において探究的な学びを実践できている児童・生徒の割合	92.0%	100%
英検等受験率の割合（小学校第5・6学年及び中学校生徒）	87.6%	97.0%

主要施策	概 要
子育て デジタル 生きる力を育む学校教育の推進	「確かな学力」と「豊かな心」の育成を目指し、ICT活用教育とともにデジタル社会での情報モラル教育や情報選択能力の育成を進めます。さらに、安全・安心な学校環境と学習環境を整備し、子どもたちが健やかに学び成長できる環境づくりを推進します。
子育て 児童・生徒主体の学びづくり	児童・生徒主体の学びづくりを通じて、子どもの自発性と自立心を育む教育を推進します。SDGsの視点も取り入れ、持続可能な社会への関心を高め、環境や多様性、地域社会への理解を深める学びの機会を提供します。

※52 プロジェクト学習…実世界に関する解決すべき複雑な問題や問い仮説をプロジェクトとして解決・検証していく学習のこと。

主な事務・事業

ICT を活用した学力の推進	自分の思いや考えを伝える力を育む取組
英語教育の推進	

関連する計画

阿蘇市こども計画（令和7年度～令和11年度）



タブレットを活用した授業風景